

一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会
第5期 第3回理事会次第

日時 令和4年7月25日(月)10時30分

場所 十八親和銀行本店3階(応接室⑩)

1. 開 会

2. 理事会成立の確認

3. 議 事

第1号議案 第6期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)事業計画(案)
及び収支予算(案)について

第2号議案 理事の選任(案)について

報告事項 第5期(令和3年8月1日～令和4年7月31日)事業報告(案)
及び収支決算(案)について

4. 閉 会

【第1号議案】

一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会

第6期事業計画（案）

（令和4年8月1日～令和5年7月31日）

当法人は、長崎地域の経済活性化に資する事業（長崎サミットプロジェクト関連事業）に対する支援を主たる目的として、当法人の会員の増強を図るとともに、会費収入をもとに長崎サミットプロジェクト関連事業に対し助成を行う。

1. 一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会運営

- 第6期定時社員総会
期日：令和4年9月29日
- 第6期理事会
期日：令和4年8月31日、令和5年7月

2. 長崎サミットプロジェクト関連事業への助成金（長崎都市経営戦略サポート資金）の交付事務

支援協会からの支援助成金をもとに、理事会で決定される支援の大枠に従って、長崎地域の経済活性化に資するプロジェクトに対する助成に係る事務

- 募集、支援の大枠に係る調整、申請受付、審査資料等作成、審査、助成金交付、助成内容等公表、実績報告徴取、精算

3. 組織活動強化

- 一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会への入会要請活動

《参考》

一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会からの助成を受けて実施する長崎都市経営戦略推進会議の事業

1. 長崎サミット開催

- 第24回長崎サミット
期日：令和4年8月22日
場所：ホテルニュー長崎
- 第25回長崎サミット
期日：令和5年1月（予定）
場所：未定
- 第26回長崎サミット
期日：令和5年6月（予定）
場所：未定

2. 長崎都市経営戦略推進会議開催

- 第19回長崎都市経営戦略推進会議
期日：令和4年8月10日
場所：十八親和銀行本店10階ホール
- 第20回以降については月1回程度開催予定

3. プロジェクトチームの活動支援等

プロジェクトチームの活動に対し、必要な助言・支援を行う。

4. 広報・情報発信

- テレビ情報番組等
- ホームページ

5. 要望・陳情活動等

- 推進会議が必要と認めた場合に随時実施

【第1号議案】

一般社団法人 長崎都市経営戦略支援協会 第6期 収支予算(案)
(自令和4年8月1日 至令和5年7月31日)

(単位:円)

科目	予算額	第5期決算額	差額
1. 事業活動収支の部			
(1) 事業活動収入			
受取会費収入	29,000,000	31,000,000	▲ 2,000,000
雑収益収入			
受取利息		55	▲ 55
事業活動収入計	29,000,000	31,000,055	▲ 2,000,055
(2) 事業活動支出			
事業費支出			
支払助成金	28,400,000	30,804,949	▲ 2,404,949
管理費支出			
会議費	300,000	143,748	156,252
会員証作成費	100,000	0	100,000
雑費	100,000	80,358	19,642
租税公課	100,000	71,000	29,000
管理費支出計	600,000	295,106	304,894
事業活動支出計	29,000,000	31,100,055	▲ 2,100,055
事業活動収支差額	0	▲ 100,000	100,000
当期収支差額	0	▲ 100,000	100,000
前期繰越収支差額	600,000	700,000	▲ 100,000
次期繰越収支差額	600,000	600,000	0

※日本公認会計士協会「新公益会計基準適用に伴う収支予算書及び収支計算書の取扱い
について(H17.11.9)」に準拠して作成

【第2号議案】

一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会 理事の選任（案）

現在の理事である中牟田新一氏、加藤 純氏の辞任に伴い、下記2名を理事として選任したい。

	候補者番号	氏名	備考
理事候補者	1	東 晋	長崎経済同友会代表幹事 長崎放送株式会社 代表取締役社長
	2	森 拓二郎	十八親和銀行 取締役会長

■ 選任後の理事、監事名簿(案)

理事長	宮脇 雅俊	長崎商工会議所 会頭
理事	東 晋 ※	長崎経済同友会代表幹事
	森 拓二郎 ※	十八親和銀行 取締役会長
	松島 雄大	長崎青年会議所 理事長
	河野 茂	長崎大学 学長
監事	波多野 徹	波多野アントハートナース会計事務所 代表社員
	松永 安市	長崎商工会議所 専務理事

【報告事項】

一般社団法人長崎都市経営戦略支援協会

第5期事業報告（案）

（令和3年8月1日から令和4年7月31日まで）

I. 事業運営の総括

長崎サミットプロジェクトは、2020年にスタートから10年の節目の年を迎え、新たな体制で「地域経済の維持発展」、「人口減少の抑制」という観点から必要な活動を展開していくこととされました。続く第22回長崎サミットにおいては、「オープンイノベーション」の手法を用いていくことについて確認されるとともに、昨年11月の第23回長崎サミットでは、継続して取り組む仕組みや態勢をつくっていくことが大事という認識が示されたところです。

一方、2020年初めより続く新型コロナウイルス感染拡大は、地域経済に甚大な打撃を与えてまいりましたが、ワクチン接種や第三者認証、ワクチン接種証明書の普及拡大と併行して、県民、市民、事業者が安心して活動できる長崎独自の出口戦略「Team NAGASAKI SAFETY」を実施するなど、地域経済の回復をはじめ、ポストコロナを見据えた「新常态」に対する新たな取組が進められております。

令和3年度のサミットプロジェクトにおいても、このような地域経済を取り巻く環境の変化に対応すべく、産学官が一体となって取組を進めていくことが必要との認識の下、会員の皆様のご協力を得ながら、いただいた会費を原資として、地域経済の回復・成長に向けて、産学官連携の推進組織である長崎都市経営戦略推進会議と一体となって事業を実施いたしました。

II. 第5期事業報告

1 会員増強活動

コロナ禍による非常に厳しい経済環境下であることを踏まえ、積極的な入会の依頼は控えておりましたが、会員の皆様のご協力により、令和4年7月末日現在、会員数149名、会費合計額31,000千円となっています。

2 当法人からの助成金を財源として助成した事業

(1) 長崎都市経営サポート資金助成事業

- ① 作業台船向けユニット型動揺低減装置開発
- ② おさかなサブスク第二次実証実験
- ③ MICE施設へのコンベンション誘致
- ④ 「NAGASAKIしごとみらい博2021」開催
- ⑤ 「長崎留学生支援センター」が実施する留学生支援
- ⑥ 高付加価値「長崎かんぼこ」開発
- ⑦ 県産魚メニューを主体とした屋台形式飲食市場実証実験

《参考》

長崎都市経営戦略推進会議が主催・主体となって実施した事業（活動概略）

1. 事業推進に係る会議等の開催

○ 長崎サミット

第23回長崎サミット

【開催日】 令和3年11月4日

【開催場所】 出島メッセ長崎 コンベンションホール1

【テーマ】 100年に一度のまちの変革による産業の活性化の実現

【出席者】

長崎商工会議所会頭	宮脇 雅俊
長崎経済同友会代表幹事	中牟田 真一
長崎県経営者協会会長	椎葉 邦男
長崎青年会議所理事長	野田 剛士
長崎県知事	中村 法道
長崎市長	田上 富久
長崎大学学長	河野 茂

- 長崎都市経営戦略推進会議
 - 第 10 回～18 回まで 9 回開催
 - 第 23 回長崎サミットへの対応、長崎サミットプロジェクトの進め方、「長崎都市経営サポート資金」の助成対象事業、同資金の運営等について協議・調整・実践

- ワーキングチーム（WT）
 - 随時開催し、長崎サミットで示唆された方向性の具体化について調査・検討を実施
 - ・ 長崎夜景プロモーション実行委員会 2 回開催
 - ・ 長崎かんぼこ王国推進委員会 4 回開催
 - ・ NAGASAKI しごとみらい博実行委員会 4 回開催

2. 事業推進活動

- NAIGAICREW と連携した事業推進活動
- 推進会議が直接事業者等と連携した活動
- 誘致企業等と地域事業者との連携を目的とした活動

3. 広報活動

- ホームページにより長崎サミット、長崎都市経営戦略推進会議の事業内容等を発信
- 当法人及び長崎都市経営戦略推進会議の活動等について、発信力を高めるために、ホームページを改修
- テレビの情報番組を活用し、長崎サミットプロジェクトの活動状況等の広報を実施

【報告事項】

一般社団法人 長崎都市経営戦略支援協会 第5期 収支決算(案)
(自令和3年8月1日 至令和4年7月31日)

貸借対照表
(令和4年7月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	600,000	負債合計	0
		(正味財産の部)	
		一般正味資産	600,000
		正味財産合計	
資産合計	600,000	負債・正味財産合計	600,000

財産目録
(令和4年7月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所等	使用目的等	金額
預金	普通預金 十八親和銀行本店営業部	運営管理資金等として	600,000

正味財産増減計算書
(自令和3年8月1日 至令和4年7月31日)

(単位:円)

科目	金額
(一般正味財産増減の部)	
経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取会費	31,000,000
雑収益	
受取利息	55
経常収益計	31,000,055
(2) 経常費用	
事業費	
支払助成金	30,804,949
管理費	
会議費	143,748
会員証作成費	0
雑費	80,358
租税公課	71,000
管理費支出計	295,106
経常費用計	31,100,055
当期経常増減額	-100,000
一般正味財産期首残高	700,000
一般正味財産期末残高	600,000
正味財産期末残高	600,000

※会費納入先 141先